KOMAZAWA×CHUO

駒澤大学7－0中央大学

労を惜しまぬプレーで前節につづきこの試合でもゴールを決めたルーキー小林竜樹（写真中央）（撮影・野澤俊介）

大量7得点の圧勝！中大制し首位浮上！！

赤嶺＆原FWコンビ絶好調！！

黒星スタートとなってしまった流経大戦から新たに気持ちを切り替えた選手たちは、雨模様の日も、自分たちのサッカーをやってのけた。赤嶺と原の得点を含む、納得のいくプレーで結果を出した。

快勝した前節と同じスターティングメンバーで臨んだ試合開始早々1分、早くも赤嶺のゴール。早い時間帯に点が入ってみんながゴールを意識した、いい流れが作れた。原というように、その後もチームを体が果敢にシュートを打ち、安定した攻撃を見せる。そして再び歓喜が訪れたのは38分。赤嶺からのクロスボールを小林竜が頭で合わせ、1年生ながら前節に続く2点目のゴールを決めた。その2分後には中後からのパスを受けた原がドリブルでゴール前へ持ち込み、落ち着いてボールを流し込んだ。危なげな場面もほとんどなく圧倒的な駒大ペースで前半終了。

後半も駒大ゴールショーは続く。52分、原が右足で強烈なシュートを放つ。そのボールは中央GK貝尻に弾かれ、さらにポストに当たるがそこへ詰めていた赤嶺が体勢を崩しつつゴールに押し込んだ。つづく5点目もGKに弾かれ決めきれなかった原のボールを赤嶺が押し込み、ハットトリック達成。

その後も4分に原、7分には小林竜と後半で入った1年生八角の初ゴールが決まり駒大が合計7得点をたたき出し試合終了。

やっとチームとしてまとまろうとしていることが見えてきた二敗目。ここ2人ひとりが変わったからチームも変わり、良い感じで来ている。

（中嶋）。開幕戦での敗戦が選手たちの意識を変え、さらには前節の勝利がチームを盛り上げた。試合ごとに充実した戦いぶりを見せる駒大。チームの雰囲気も開幕戦とはうってかわって明るい。これから先も勝利を得ていくのは簡単なことではないが、今の気持ちを大切に、駒大らしいサッカーが見られることを願う。

（山本麻紗し）